

事務事業評価シート

(平成 25 年度実施事業)

| | | | | | |
|-------|--|------|-------|-------|-------|
| 事務事業名 | 盛岡市農業振興連絡協議会運営事業 | | | 事業コード | 0594 |
| 所属コード | 141000 | 課等名 | 農政課 | 係名 | 農政企画係 |
| 課長名 | 佐々木 和則 | 担当者名 | 及川 哲志 | 内線番号 | 6035 |
| 評価分類 | <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理 | | | | |

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

| | | | | |
|------------|--|------------|----------|---|
| 総合計画 体系 | 施策の柱 | 活力ある産業の振興 | コード | 5 |
| | 施策 | 活力ある農林業の振興 | コード | 1 |
| | 基本事業 | 生産意欲と技術の向上 | コード | 1 |
| 予算費目名 | 一般会計 6 款 1 項 3 目 農業改良普及事業 (023-02) | | | |
| 特記事項 | | | | |
| 事業期間 | <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰越 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 | 開始年度 | 昭和 57 年度 | |
| 根拠法令等 | | | | |

(2) 事務事業の概要

農業及び農村生活の改善を図るとともに、農業改良普及事業の円滑な推進を図り、市の農業の発展に寄与する協議会に対し会費を負担するとともに、事務局として各団体との連絡調整を行い、積極的な農業施策を行う。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

農業経営基盤強化の促進に関する基本構想の実践、地域農業マスタープランの目標達成、営農技術の普及を基本として、各種計画の具体化に取り組むために、市及び農協等の関係団体により協議会が設立された。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

地域活性化、地産地消、農地の有効利用、耕作放棄地等が注目されているため、他の事業とともに、協議会もより積極的な活動を行う。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

農家及び農業関係団体を対象とする。

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

| 指標項目 | 単位 | 23年度 実績 | 24年度 実績 | 25年度 計画 | 25年度 実績 | 26年度 見込み |
|--------|----|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A 構成団体 | 団体 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| B 総農家数 | 戸 | 4550 | 4550 | 4550 | 4550 | 4550 |
| C | | | | | | |

(3) 25年度に実施した主な活動・手順

当該協議会の運営費として負担金を支出し, 事務局として事業運営に努めた。

- ・ 農業経営及び農業技術の改良普及
- ・ 農業青年及び中核的農業者の育成
- ・ 農業生活及び生活環境の改善
- ・ 調査, 研究, 研修及び情報交換

(4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

| 指標項目 | 単位 | 23年度 実績 | 24年度 実績 | 25年度 計画 | 25年度 実績 | 26年度 目標値 |
|-------------|----|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A 専門部会等会議 | 回 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| B 講習会・先進地研修 | 回 | 11 | 14 | 14 | 16 | 14 |
| C 認定農業者関係会議 | 回 | 10 | 8 | 8 | 8 | 8 |

(5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

農業関係団体との連携を強化し, 農業改良普及事業を推進するとともに, 事務局として事業運営に努める。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

| 指標項目 | 性格 | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度計画 | 25年度実績 | 26年度目標値 |
|----------|--|----|--------|--------|--------|--------|---------|
| A 認定農業者数 | <input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持 | 人 | 282 | 272 | 272 | 271 | 280 |
| B | <input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持 | | | | | | |
| C | <input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持 | | | | | | |

(7) 事業費

| 項目 | 財源内訳 | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度計画 | 25年度実績 |
|-----|------------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 事業費 | ①国 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ②県 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ③地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ④一般財源 | 千円 | 330 | 330 | 330 | 330 |
| | ⑤その他() | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | A 小計 ①～⑤ | 千円 | 330 | 330 | 330 | 330 |
| 人件費 | ⑥延べ業務時間数 | 時間 | 160 | 160 | 160 | 160 |
| | B 職員人件費 ⑥×4,000円 | 千円 | 640 | 640 | 640 | 640 |
| 計 | トータルコスト A+B | 千円 | 970 | 970 | 970 | 970 |
| 備考 | | | | | | |

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

結びついている。

理由：農業の発展に寄与することを目的としている。

② 市の関与の妥当性

妥当である。

理由：協議会に参画して、農業関係団体等と共同で農業施策を推進する効果は大きい。

③ 対象の妥当性

現状で妥当である。

理由：盛岡市全体の農業振興を目的としており，妥当である。

④ 廃止・休止の影響

影響がある。

理由：協議会が成立しないおそれがあり，それにより関係機関・団体による施策が実施できなくなるため，農業の振興に支障をきたす。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

さらに事業内容を精査し，費用対効果を上げる余地がある。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

公平・公正である。

理由：事業の性質上，対象が限定されてることから適正である。

(4) 効率性評価

必要最小限の人員費及び事務費であるため，削減は，事業の減少に直結し，成果も低下する。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

限られた予算の中で，各構成団体からの負担金の支出目的に合致し，効果的な協議会運営となるよう，各部会活動事業を精査し，促進していく。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

一部の構成団体に活動が偏らないよう，各構成団体との連携を密にし，効果的な部会活動を推進していく。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

部会ごとの活動状況に若干の差があることから、活発な活動となるよう、事業効果を検証しながら、効果的な事業に取り組む。